

令和元年度事業報告

社会福祉法人岡山こども協会

1 法人をとりまく社会状況

社会福祉法人は非営利法人としてふさわしいガバナンスと高い透明性を備え、主体性をもった自律的な法人経営に取り組み、地域のさまざまな生活・福祉課題に積極的対応をすることが求められています。他方、地域共生社会の実現に向けた議論が進められる中で、社会福祉法人がその中核的な担い手として地域の中で主導的な役割を果たさなければなりません。

少子化と言われ始めてからかなりの年月が経ちます。出生数が死亡数を下回る「自然減」は13年連続で、年々過去最大の減少幅を記録しています。厚生労働省の発表では、2019年の「自然減」は、推計で51万2,000人、前年より6万4,000人の増加になります。2019年の出生数は統計の残る1899年以降で最少の86万4,000人（前年比約5万4,000人減）となっています。婚姻は前年（2018年）より3,000組減って戦後最少の58万3,000組となり、離婚は21万組（前年比2,000組増）です。20～30代の女性の人口も減少している現状を踏まえると少子化に歯止めをかけることはできそうにもありません。晩婚化・晩産化傾向も続いています。

一方、児童虐待、こどもの貧困、片親家庭の増加、地域での孤立、スマートフォン依存など、こどもや家庭を取り巻く困難な課題が多く見られています。特に児童虐待の相談件数は、2018年度で15万9,850件となり、前年比2万6,072件増加しています。ここ5年は10%以上の増加率となっており、喫緊の課題として社会全体で改善に向けて取り組む必要があるように思います。

2 国の保育園施策とその方向

昨年10月に、幼児教育・保育無償化（3～5歳）が実施されました。保育園入園希望者が増加することが懸念されましたが、幼稚園の一時預かり事業の拡充等で、今のところ大きな影響は見られません。ただ、今後は幼稚園と保育園との区別は薄くなり、認定こども園化も視野に入れながら、選ばれる施設を目指していく必要があります。また、待機児童の問題が続いています。保育の需要もおおよそ5年後をピークに減少の方向に向かうとも言われていますが、潜在的なニーズの問題もありこの現象は当分の間続きそうです。国の施策として、企業主導型保育所や小規模保育所等を推進する動きがあります。施設が増加したことで、待機児童対策として一定の効果は見られましたが、様々な課題も出てきています。量が先行し質が置き去りになっているような状況も起こっています。こどもたちの最善の利益を守るよう、私たち保育従事者は、理念をもって保育を実践していかなければなりません。

3 保育園事業・障がい児通所支援事業・放課後児童健全育成事業・子育て支援事業の運営概要

令和元年度は、保育園4か所、認定こども園1か所、障がい児通所支援施設及び事業所4か所、相談支援事業1か所、地域生活支援事業1か所、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）6か所、子育て支援センター2か所を運営いたしました。その運営にあたっては理事会及び経営会議を中心に各種委員会などを定期的開催し、各事業の運営、合同の研修・行事等について調整を図り、実施しました。

保育園事業については、地域のニーズに対応するため、赤磐市と協議しながら進めました。年度途中の入園希望が相次いだものの、保育士の確保が難しく、需要に応えられていません。保育士等の確保を重要課題と位置づけ、法人として多様な雇用形態を採用し、職員の確保に努めました。それでも需要に完全に応えることができていない状況です。

障がい児通所支援事業は、主に幼児対象の「あかいわ児童発達支援センター もみじの家」「保育所等訪問支援 てつなぎ」と小学生以上対象の「放課後等デイサービス こぶしの家及びあんずの家」、相談支援事業として「障がい児相談支援・特定相談支援 わたぼうし」を運営しました。また、地域生活支援事業として「日中一時支援 かりんの家」を運営しました。放課後等デイサービスこぶしの家は定員20人を10人に変更し、新たにあんずの家を定員10人として開所しました。療育を区分することにより、より専門的な支援を行うことができるようになりましたが、開設初年度ということで経営面での課題が残りました。今後は、保護者や利用児のニーズを把握し、療育内容及び環境の改善に努めていき、地域における中核施設となれるよう、自治体や幼稚園・保育園、他の事業所と連携をとりながら運営していきます。

放課後児童健全育成事業については、「アンドロメダクラブ」「スバルクラブ」「カシオペアクラブ」「オリオンクラブ」「たいようクラブ」「ぎんがクラブ」の6クラブの運営を行ないました。クラブ利用希望者も年々増加しています。適正な運営を実施するために、定員を遵守し、環境の整備・改善を進めます。

子育て支援事業については、拠点で利用状況に差が生じるような結果となりました。地域の方が利用しやすい雰囲気や環境、職員体制を再検討します。また、ホームページの活用、子育て相談専用電話の広報等も進めていきます。今までの活動を継続しつつも定期的に見直しを図りながら、保育園を知っていただき気軽に利用していただくことが今後の園運営にとっても重要であると捉えています。

(1) 職員の状況

令和元年度の採用試験等で、保育士は正規職員として5名、非正規職員として6名、栄養士は正規職員として2名、指導員は非正規職員として2名、事務員は非正規職員として1名、調理員は非正規職員として1名、運転ドライバーとして非正規職員を1名採用しました。また、非正規職員であった指導員1名、事務員1名を、令和2年4月から正規職員として採用することとしました。

令和2年度当初の職員数は、次のとおりです。

事業名	施設長	副施設長	保育士等	調理員	指導員	看護師	事務員	保育補助員等	合計
あすなろ保育園	1[1]	0	26(3)	5(1)	0	1	6(1)	8(8)	47(13)[1]
さくらが丘保育園	1[1]	0	21(3)	4(2)	0	1	1	5(5)	33(10)[1]
とよた保育園	1	0	14(4)	3(2)	0	0	1(1)	5(5)	24(12)
さくらんぼ保育園	1	0	11(0)	3(2)	0	1	0	4(4)	20(6)
いちようの森こども園	1	0	15(2)	3(2)	0	1	1	3(3)	24(7)
もみじの家	1[1]	0	11(2)[3]	2(1)	0	0	0	0	14(3)[4]
こぶしの家	1[1]	0	9(3)[6]	0	0	0	0	0	10(3)[7]
かりんの家	1[1]	0	4(2)[4]	0	0	0	0	0	5(2)[5]
てつなぎ	1[1]	0	2[2]	0	0	0	0	0	3[3]
わたぼうし	1[1]	0	1[1]	0	0	0	0	0	2[2]
あんずの家	1[1]	0	3[1]	0	1(1)	0	0	0	5(1)[2]
あすなろこどもセンター	1[1]	0	6(3)	0	8(7)[2]	0	0	9(9)	24(19)[3]
さくらが丘こどもセンター	1[1]	0	7(3)[1]	0	3(2)	0	0	6(6)	17(11)[2]
あすなろ子育て支援センター	1[1]	0	2(2)	0	1(1)	0	0	0	4(3)[1]
さくらが丘子育て支援センター	1[1]	0	3(3)	0	0	0	0	0	4(3)[1]
合計	15[12]	0[0]	135(30)[18]	20(10)	13(11)[2]	4	9(2)	40(40)	236(93)[32]

- *総括主任・副主任は保育士に含む。また、調理員に栄養士を含む。
- *職員数には、産休及び育休中職員を含む。
- *保育士等とは、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、児童指導員等の有資格者をいう。
- *（ ）内はうち非常勤職員数
- * []内はうち兼務職員数

(2) 職員の労務・給与

月給制常勤職員の労働時間は週40時間とし、保育園・こども園は、勤務開始時間は午前7時、終了時間は3園が午後7時、他の2園は午後8時とし、時差勤務としています。また、障がい児通所支援事業所は、勤務開始時間は午前8時、終了時間は午後6時とし、時差勤務としています。放課後児童健全育成事業は、勤務開始時間は午前9時、終了時間は午後7時とし、時差勤務としています。年間総労働時間は、260日・2080時間とし、日曜日・国民の祝日及び年末年始の休日・祝日を除き、年間30日の休日を実施しました。

給与については、就業規則、給与・退職金規程に従って適用しました。また、人事院の勧告に伴い、賃金改善は給与で行い、処遇改善費は手当及び賞与として支給しました。なお、賞与については評価制度を導入しています。人事評価制度に基づいて、昇給・昇格を決定しました。

職務分担は、年度当初に作成し、クラス運営、給食調理、事務等の分担のほかに運動会・発表会等の年間行事、定例行事、環境・保健・広報・写真・図書等の職務について話し合いにより決定しています。

各種会議・PJ・委員会の開催状況は、次のとおりです。

ア 各種会議・PJ・委員会

会議名	出席者及び人数	開催回数	検討項目
経営会議	理事長・常務理事・施設長等11名	年間15回	各事業の運営・財政・行事等検討
保育園・こども園運営会議	施設長・主任等10名	年間5回	保育研修・保育内容の検討等
評価調整会議	理事長・常務理事・施設長等9名	年間2回	賞与評価の調整等
昇給昇格調整会議	理事長・常務理事・施設長等9名	年間1回	昇給昇格評価の調整等
人事会議	理事長・常務理事・施設長等9名	年間1回	職員異動及び配置についての検討等
安全管理委員会	職員7名	年間4回	危機管理マニュアルに準じた安全計画の推進
衛生推進委員会	職員7名	年間4回	感染症対策、環境衛生他
食育委員会	職員7名	年間6回	給食及び食育内容の検討
献立検討委員会	職員6名	年間6回	献立の見直し等
人材確保PJ	施設長・職員3名	年間3回	年間を通じて人材確保への取組他
教育・保育・療育内容推進委員会	施設長・職員1名	年間1回	研究保育・実践記録の推進等
職員互助会運営委員会	施設長・職員6名	年間2回	互助会運営委員会の開催

虐待防止啓発委員会	施設長・職員 6 名	年間 2 回	虐待防止対応マニュアルの策定
あすなろ全面改築 PJ	施設長・職員 2 名	年間 2 回	あすなろ保育園等の図面の検討等
40周年記念事業委員会 愛唱歌班 記念アルバム班 同窓会・記念講演班 記念コンサート班 職員旅行班 卒園児キャンプ班	施設長 2 名 職員 5 名 職員 6 名 職員 3 名 職員 3 名 職員 6 名 施設長・職員 10 名	年間 1 回 年間 2 回 年間 3 回 年間 3 回 年間 2 回 年間 2 回	法人設立 40 周年記念事業の検討
研修委員会	施設長・職員 4 名	年間 3 回	職員研修の内容検討
広報委員会	施設長・職員 8 名	年間 5 回	地域向け広報紙等の検討
事務会議	常務理事・施設長 1 名・職員 15 名	年間 3 回	事務・経理作業の確認

イ その他の会議

① 施設等合同の会議

- ・ こどもセンタースタッフ会議
- ・ 子育て支援センター会議
- ・ 根っこの広場合同研修会議 等

② 各施設単位の会議

- ・ 職員会議
- ・ 3 歳以上児 3 歳未満児連絡会議
- ・ くろまめ会議（各保育園打合せ会議） 等

(3) 職員の福利厚生

福利厚生事業として、正規職員は、岡山県民間保育所職員退職金共済制度と福祉医療機構の退職金制度に加入しています。また、正規職員を除く月給制職員、非正規フルタイム職員及びパートタイム職員の内 6 時間以上勤務の職員は福祉医療機構の退職金制度に加入しています。なお、パートタイム職員の内 6 時間未満勤務の職員は、法人のパートタイム職員退職金制度に加入しています。職員互助会は法人独自の事業として理事・施設長・職員代表で運営委員会を構成し運営しています。週 5 日 20 時間以上の職員加入としています。

また、リフレッシュ休暇制度を導入し、採用後 5 年間以上継続して勤務している職員に、5 年経過するごとに 5 日間の特別休暇を与えています。職員会に対しては、職員の親睦を深める活動に補助を行い、令和元年度はスポーツ大会を実施しました。

職員の健康管理として、全職員に労働安全衛生法に基づくレントゲン検診・内科検診を実施し、給食調理職員については毎月の検便検査、年齢 40 歳以上の職員的生活習慣病検診を行なっています。

(4) 財政の運営

貸借対照表で見ると、資産総額 2,119,422 千円、負債総額 207,778 千円で、差引純資産は 1,911,644 千円となりました。前年度より純資産 72,021 千円の増加となりました。

資金収支による収入では本部・6 施設・5 事業所・6 クラブの当年度実質収入は 867,310 千円（拠

点区分間等収入・積立資産取崩収入を除く)で、主たるものは保育事業収入 672,153 千円 (77.5%)、放課後児童健全育成事業収入 65,923 千円 (7.6%)、障がい福祉サービス事業収入 103,597 千円 (11.9%)、経常経費寄附金収入 4,118 千円 (0.5%)、受取利息配当金収入 4,156 千円 (0.5%)、その他収入 (給食費・雑収入等) 17,366 千円 (2.0%) となっています。

支出は当年度実質支出 753,018 千円 (拠点区分間等支出・積立資産支出・資金残高取崩分を除く)。そのうち人件費支出 625,003 千円 (*72.1%)、事業費支出 64,653 千円 (*8.6%)、事務費支出 29,336 千円 (*3.9%)、支払利息支出 539 千円 (*0.07%)、その他の支出 11,279 千円 (*1.5%)、借入金元金償還支出 7,542 千円、固定資産取得支出 14,663 千円となっています。当年度資金収支差額は 19,601 千円となりました。

財政全体で見ると、当年度は、事業活動収入が若干減少しているのに対して、事業費及び事務費支出が増加しています。これは、副食費の徴収に伴い給食費支出が増加したこと、法人全施設のホームページをリニューアルしたことが影響しています。保育園等を運営している社会福祉法人の経営指標で、健全な経営の目安となっている人件費率 75% を超過しないように経営を進めていながら、財産及び積立金等を精査し、剰余金を社会福祉充実計画等に投資していきます。

※事業活動収入に対する比率

事業活動資金収支の推移

単位 (千円)

		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)
収入の部	保育事業収入	551,213	83.2	578,926	82.3	656,639	77.8	684,975	78.6	672,153	77.5
	放課後児童健全育成事業収入	56,169	8.5	55,629	7.9	75,128	8.9	66,383	7.6	65,923	7.6
	障害福祉サービス等事業収入	34,363	5.2	41,744	5.9	82,608	9.8	88,795	10.2	103,597	11.9
	経常経費寄附金収入	1,238	0.2	1,195	0.2	3,288	0.4	3,902	0.4	4,118	0.5
	受取利息配当金収入	5,002	0.8	4,586	0.7	4,369	0.5	4,369	0.5	4,150	0.5
	その他の収入	14,310	2.2	21,239	3.1	21,466	2.5	23,343	2.7	17,366	2.0
	合計	662,295		703,619		843,498		871,767		867,310	
支出の部	人件費支出	399,887	60.4	466,961	66.4	586,794	69.6	629,114	72.2	625,003	72.1
	事業費支出	49,379	7.5	60,242	8.6	59,063	7.0	57,031	6.5	64,653	8.6
	事務費支出	17,286	2.6	21,574	3.1	30,560	3.6	22,155	2.5	29,336	3.9
	支払利息支出	320	0.05	257	0.04	592	0.07	582	0.07	539	0.07
	その他支出	9,630	1.5	10,875	1.5	13,395	1.6	16,097	1.8	11,279	1.5
	流動資産の評価損等による資金減少額	0	0	63	0.01	0	0	140	0.02	0	0
	合計	476,502		559,909		690,404		724,979		730,812	

※事業活動収入に対する比率

※千円未満切り捨て等の処理により、端数が一致しない場合あり

(5) 令和元年度人件費積立金、施設整備等積立金の状況

単位 (千円)

	平成30年度末 積立金 (人件費及び施設整備積立金)	令和元年度 積立金 (施設整備積立)	令和元年度 積立金取崩	令和元年度末 積立金合計 (人件費及び施設整備積立金)	令和元年度末 減価償却累計額
あすなる 保育園	278,050	30,000	0	308,050	188,434
さくらが丘 保育園	202,850	8,000	0	210,850	144,833
とよた保育園	117,700	11,000	0	128,700	117,092
さくらんぼ 保育園	154,800	19,000	0	173,800	118,774
いちようの森 こども園	30,000	16,000	0	46,000	27,641
根っこの広場	5,000	0	0	5,000	48,244
あすなる こどもセンター	5,337	1,840	0	7,177	22,047
さくらが丘 こどもセンター	4,988	875	0	5,863	6,509
合 計	798,725	86,715	0	885,440	673,619

※四捨五入の処理により、端数が一致しない場合あり

(6) 重点課題の評価

◎…達成した、○…ほぼ達成した、△…やや達成できていない、×…ほとんど達成できていない

I. 利用者に対する基本姿勢

項 目	評価
<p>[行動指針1] 児童処遇…保育・療育者の直接的な働きかけ</p> <p>○自らを認め、育つことのできる場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が、自らの存在を認められるような保育・療育等を行います。 ・子どもが主体的に生活や遊びを展開できる場を提供します。 <p>○発育及び発達保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とともに児童の健康状態、発育及び発達状態を把握し、健康管理及び身体づくりを行います。 ・食育に取り組み、食の大切さを実感できるような給食及びおやつを提供します。 	<p>△</p> <p>○</p>
<p>[行動指針2] 利用者の権利擁護</p> <p>○権利擁護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の人権の尊重と最善の利益の確保に努めます。 ・利用者及びその家族の人権に十分配慮し、一人ひとりの人格を尊重したサービスを提供します。 ・児童の人権擁護・虐待防止に向けて、保護者とともに取り組みます。 ・利用者の権利擁護について、職員が認識を深めるよう虐待防止及び人権教育 	<p>△</p>

等の取り組みを実施します。	
<p>[行動指針3] 家族支援</p> <p>○子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての孤独感や悩みを話し合える場を積極的に提供します。 ・思いを受け止めながら保護者支援を行い、親としての育ちを支えます。 ・ともにこどもの育ちを支える者として、保護者と職員、保護者と保護者のコミュニケーションを活発に行います。 ・子育てに必要な情報を提供します。 	△
<p>[行動指針4] 環境整備</p> <p>○施設及び設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の建築、改築及び修繕において、環境及び自然再生エネルギーを考慮した建物及び設備を検討します。 ・地域住民及び近隣住宅への迷惑とならないよう、適切な防音対策及び送迎時の車両渋滞等の対策を行います。 ・建物の内装・外装設備の修繕及び各種機器の耐用年数に応じた整備計画を策定し、実施します。 	△
<p>[行動指針6] サービスの質の向上</p> <p>○教育・保育・療育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを活用し、日々の活動等の見直しを図ります。 <p>○安全管理、苦情解決及び虐待解決の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントに関するマニュアルの策定、改善、周知を行います。 	△ ○

II. 社会に対する基本姿勢

項目	評価
<p>[行動指針7] 地域における公益的な取り組み</p> <p>○貧困等の課題を抱える家庭への積極的なアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に配慮をしたこどもの居場所づくりや学力支援等を行います。 ・低所得者家庭への支援として、関係機関と連携し、相談や支援制度の説明等を行います。 	×

III. 福祉人材に対する基本姿勢

項目	評価
<p>[行動指針9] 人材育成</p> <p>○管理職及び監督職職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職及び監督職の育成制度を確立し、次世代を担う職員を積極的に育てます。 ・管理職及び監督職の職務の見直しを図り、職員の事業運営への参画意識を高めます。 	○
<p>[行動指針10] 継続して働きやすい環境の整備</p> <p>○職員への処遇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員及びその家族の健康に留意し、健康状態の確認やカウンセリング等を行います。 ・有給休暇の取得を推進します。 	△

<p>[行動指針11] 人材確保</p> <p>○障がい者・高齢者の雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者及び高齢者をより積極的に雇用します。 ・障がい者及び高齢者雇用に必要な支援体制を構築します。 	△
---	---

IV. マネジメントに対する基本姿勢

項 目	評価
<p>[行動指針12] コンプライアンス（法令遵守）の徹底</p> <p>○規程及びマニュアルの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス規程に基づき、マニュアルを策定し、定期的に見直します。 	△
<p>[行動指針13] ガバナンスの確立</p> <p>○理事会及び評議員会の機能の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令に従い、理事会を執行機関とし、責任ある適切な人材を配置し、主体的な法人経営を行います。 	◎
<p>[行動指針14] 財務規律の確立</p> <p>○財務状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務指標に基づく経営分析を行い、法人全体及び各施設、事業ごとの経営状況を適切に把握します。 	◎

(7) 施設合同の園内研修及び県外研修等の実施状況

ア 法人内研修（職員全員対象）

研修内容	実施月日	対 象	講 師 名
法人研修Ⅰ 「乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達・心の読み取り」	R1. 6. 15	全職員	東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤利彦先生
法人研修Ⅱ 「気づいていますか子ども達の声～虐待防止への取り組み～」	R1. 10. 26	全職員	国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 小児アレルギー科医長 育児支援対策室長 木下あゆみ先生
年度末研修	R2. 3. 15	全職員	理事長・常務理事

イ 法人内研修（職員対象）

研修内容	実施月日	対 象	講 師 名
新任研修	H31. 3. 29、4. 13	1年目職員	理事長・施設長等
中堅リーダー研修（宿泊）	R1. 5. 30～6. 1	中堅リーダー	理事長・常務理事・施設長等
フォローアップ研修	R1. 10. 26	1・2年目職員	理事長・施設長・主任等
次世代リーダー研修（宿泊）	R1. 11. 7～9	次世代リーダー	理事長・常務理事・施設長等
管理者研修	R1. 11. 28 ～11. 30	施設長	理事長・常務理事

中堅職員研修	R1. 11. 30	中堅職員	理事長・施設長等
財務研修	R2. 1. 8、2. 3	主任	常務理事
事務担当者会議（研修）	年3回	事務職員	常務理事及び本部事務職員

ウ 県外研修

研 修 名	開催日	場 所	参 加 者
第62回全国私立保育園研究大会	R1. 6. 11～13	熊本	原谷雅彦（い）
人間力を高める研修Ⅰ	R1. 6. 24～6. 29	北海道 礼文島他	池田裕樹（あこ）、白石（ず）、飯田（と）、藤原（ぼ）、實盛（い）
幼児教育担当者研修会	R1. 8. 28～30	大阪	森有梨香（い）
全国私立保育園連盟中国・四国ブロック研修会	R1. 9. 19	広島	大田原智美（ぼ）
保健衛生・安全対策研修会	R1. 12. 3～5	大阪	片桐陽子（あ）
第45回保育総合研修会	R2. 1. 22～24	神戸	坪井幸子（あ）、河合比呂子（い）
保育施設長研修会～管理運営編～	R2. 1. 22～24	大阪	高原泉（丘）
主任保育士・主幹保育教諭研修会～新任者対象～	R2. 1. 29～31	大阪	種子島綾（丘）

※あ：あすなる、丘：さくらが丘、と：とよた、ぼ：さくらんぼ、い：いちようの森、も：もみじの家、こ：こぶしの家、ず：あんずの家、あこ：あすなるこどもセンター、丘こ：さくらが丘こどもセンター、支：支援センター（以下同じ）

エ 海外研修

研 修 名	開催日	場 所	参 加 者
ベトナムホーチミンチャイルドケア4日間	R. 1. 7～10	ベトナム	今井李緒（あこ）、宗國美紗（い）

オ 自主研修（新任職員を対象、旅費の一部補助）

研 修 名	開催日	場 所	参 加 者
保育学セミナー	R1. 7. 20～21	神戸	岩本かおり（い）
食と健康を考えるシンポジウム	R1. 7. 27～28	大阪	西岡芽依（あ）
サマースクール	R1. 8. 5～6	福岡	金光華子（い）
サマースクール	R1. 8. 8～9	大阪	逸見祐紀（丘）
幼児のこたば遊びの会	R1. 8. 18～19	大阪	栗林沙也香（ぼ）
放課後等デイサービス研修セミナー	R1. 9. 29	大阪	堀玲子（こ）

カ 研究会

研究会名	人数	回数	講 師	内 容
わらべ唄あそび	13名	5回	ノートルダム清心女子大学 片平朋世先生他3名	わらべ唄あそびの実践等
運動あそび	13名	5回	就実大学 飯田智行先生	運動遊びの理解と実践等

発達障がいの理解	12名	5回	川崎医療福祉大学 小田桐早苗先生	発達障がいの理解とアセスメントの実践等
0・1歳児	10名	7回	施設長・総括主任	各年齢に応じた発達の理解、遊び・環境設定の実践等
2・3歳児	11名	7回	施設長・総括主任	各年齢に応じた発達の理解、遊び・環境設定の実践等
4・5歳児	10名	7回	施設長・総括主任	各年齢に応じた発達の理解、遊び・環境設定の実践等

キ その他

保育園・こども園5施設合同研究保育 年6回

(8) 施設環境の整備等

ア 主な建物（建物附属設備）・土地・構築物の取得

施設名	建設工事名等	金額(円)	取得年月日	業者名
あすなろ保育園	第4駐車場整備	4,298,400	R1.9.10	(株)東本建設
	第4駐車場整備(第2区)	680,400	R1.9.10	(株)東本建設
	第4駐車場整備工事設計管理料	120,355	R1.9.10	大塚建築設計事務所
もみじの家	土地取得	4,519,393	R1.6.28	東本地所株式会社

イ 主な修繕(10万円以上)

なし

ウ 主な器具及び備品(固定資産物品)の購入(10万円以上)

施設名	器具及び備品名	金額(円)	取得年月日	業者名
法人本部	ノートパソコン	114,480	R1.9.10	(有)大熨器械商会
あすなろ保育園	エアコン設置(1F分)	370,640	R1.8.13	(有)ヤシロ電器
	エアコン設置(2F分)	465,360	R1.8.13	(有)ヤシロ電器
	給湯器取付一式	160,600	R1.11.11	(有)安江商店
	パソコン2台	264,000	R2.3.31	(有)大熨器械商会
	A4モノクロ複合機	144,870	R2.3.31	アドバンステクノロジー(株)
さくらが丘保育園	ノートパソコン	132,000	R2.3.31	(有)大熨器械商会
	支援活動用乗用車シエントラ	1,300,000	R2.3.31	(株)リベルタ
さくらんぼ保育園	デスクトップパソコン	251,900	R2.3.31	(有)大熨器械商会
いちょうの森こども園	ステンス鉄棒2連移動式	279,000	R1.10.10	(株)岡山チャイルド社
	ノートパソコン	132,000	R2.3.31	(有)大熨器械商会
あすなろこどもセンター アンドロメダ	プロジェクター	189,200	R2.3.23	(有)ヤシロ電器
	カラー配膳台	116,908	R2.3.31	(株)フレーベル館

あすなろこどもセンター スバル	ドアホン	146,410	R2.3.23	(有) ヤシロ電器
	デスクトップパソコン	251,900	R2.3.31	(有) 大熨器械商会
あすなろこどもセンター オリオン	システムブロック アップダウンセット	139,000	R2.3.31	ひかりのくに(株)
	カラー配膳台	116,908	R2.3.31	(株) フレーベル館
さくらが丘こどもセンター ぎんが	感覚統合器具一式	308,220	R2.3.31	(有) 岡山リハビリ 機器

エ 財産処分について

施設名	処分物品名 ・規格	数量	購入金額(円)	購入年月日	現在価格 (円)	廃棄年月日
あすなろ 保育園	高速オープン	1	109,200	H14.12.10	1	R1.5.30
さくらが丘 保育園	エブリイ	1	807,500	H14.3.31	1	R2.11.1
	フードプロセッサ	1	102,990	H17.12.12	1	R2.12.23
とよた保育園	ノートパソコン	1	150,000	H20.3.31	1	R2.1.31
	ノートパソコン	1	108,000	H25.3.25	1	R2.1.31

4 保育・療育事業等の実施

(1) 保育園・こども園事業

- ア あすなろ保育園の設置運営 園長 坪井 幸子
赤磐市桜が丘西3-14-19 定員 200名
- イ さくらが丘保育園の設置運営 園長 高原 泉
赤磐市桜が丘東6-6-704 定員 150名
- ウ とよた保育園の設置運営 園長 齊藤 歩
赤磐市松木549 定員 70名
- エ さくらんぼ保育園の設置運営 園長 大田原 智美
赤磐市桜が丘東2-2-809 定員 80名
- オ 幼保連携型認定こども園いちょうの森こども園の設置運営 園長 松本 清美
赤磐市桜が丘東3-3-496 定員 95名

(2) 障がい児通所支援事業

- ア 児童発達支援センター もみじの家の設置運営 所長 花房 由美
赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 20名
- イ 保育所等訪問支援事業 てつなぎ 所長 花房 由美
赤磐市桜が丘西10-2-16
- ウ 放課後等デイサービス こぶしの家の設置運営 所長 花房 由美
赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 10名
- エ 放課後等デイサービス あんずの家の設置運営 所長 大崎 久美子
赤磐市桜が丘東6-6-704 定員 10名

(3) 相談支援事業

- ア 障がい児相談支援・特定相談支援 わたぼうし
赤磐市桜が丘西10-2-16

(4) 地域生活支援事業

- ア 日中一時支援事業 かりんの家 所長 花房 由美
赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 15名

(5) 放課後児童健全育成事業の実施

- ア あすなるこどもセンターの設置運営 所長 杉井 康志
・アンドロメダクラブ・スバルクラブ・カシオペアクラブ・オリオンクラブの運営
定員各40名

- ・学力サポート事業「ひらめき」実施
・「キッズくらぶ」「あそぼうでえ」事業実施
・くらしサポート事業「ひのきカフェ」「ひのきカフェさたで一」実施

- イ さくらが丘こどもセンターの設置運営 所長 杉井 康志

- ・たいようクラブ・ぎんがクラブの運営 定員各40名
・学力サポート事業「まなびや」実施
・「将棋クラブ」事業実施

- ・くらしサポート事業「さんカフェ」「さんカフェぷらす」「ひだまりランチ」実施

- ウ とよた保育園

- ・「たいこクラブ」「おおぞらクラブ」事業実施

- エ さくらんぼ保育園

- ・「野外活動楽しみ隊」事業実施

(6) 子育て支援拠点事業の実施

- ア あすなる子育て支援センターの設置運営
赤磐市桜が丘西3-14-19 所長 大崎 久美子

- イ さくらが丘子育て支援センターの設置運営
赤磐市桜が丘東6-6-704 所長 大崎 久美子

(7) 施設合同事業の実施

- ア そら組(5歳児)キャンプの実施

国立吉備青少年自然の家において、令和元年9月4日～6日(2泊3日)にあすなる・さくらんぼの2園の児童と一緒に、令和元年9月11日～13日にさくらが丘・とよた・いちょうの森の3園の児童が、キャンプファイヤー、ハイキング、飯ごう炊さんなどをしました。

- イ ほし組(4歳児)お泊り保育

岡山県青少年教育センター閑谷学校において、令和元年11月13日～14日(1泊2日)にあすなる・いちょうの森2園の児童と一緒に、令和元年11月14日～15日(1泊2日)にさくらが丘・とよた・さくらんぼ3園の児童と一緒に行ないました。自然の中でハイキングや野外遊びを行い、親元を離れての生活を経験しました。

- ウ 熊山登山の実施

5歳児そら組児童親子を対象に、「からだを育てる」事業の一環として熊山登山を行ないました。参加したすべての子どもたちが自力で頂上まで登りました。

あすなる・とよた・いちょうの森の3園は、令和元年10月25日に予定していましたが悪天候のため中止となり、さくらが丘・さくらんぼの2園は令和元年11月1日に合同で実施しました。

エ 卒園旅行の実施

令和2年3月5日に全園合同で神戸市王子動物園に行く予定でしたが、感染症流行のため中止しました。

オ 法人設立40周年記念行事

(ア) 40周年記念コンサート

令和元年8月10日に、赤磐市桜が丘いきいき交流センターにて、新沢としひこ氏を招いて、地域の親子を対象に記念コンサートを行いました。

(イ) 40周年記念講演・同窓会

令和元年8月11日に、ホテルグランヴィア岡山にて、新沢としひこ氏を招いて、記念講演を行い、法人勤務歴のある職員同窓会を行いました。

(ウ) 40周年記念第40回なかよしキャンプ等の実施

令和元年8月22日～24日（2泊3日）に、富山県の立山連峰登山を予定していましたが悪天候のため中止しました。

(エ) 40周年記念職員研修旅行

宮城県や岩手県などの東日本大震災の被災地を訪れ、被災時の状況や復興の状況について学びました。令和元年9月14日～16日と11月2日～4日の2班に分けて行いました。

5 苦情処理制度の普及と対応

年度当初、保護者に対して苦情対応制度の説明と第三者委員等対応担当者の名簿を配布しています。保護者及び地域から出された苦情については苦情解決責任者（各施設長）で解決できたものも含めて、第三者委員会に報告し、指導助言をいただきました。

第三者委員は、弁護士1名及び赤磐市内民生児童委員経験者等の2名を委嘱し、2回（9月、3月）第三者委員会を開催いたしました。第三者委員への通告を求める苦情申し出はありませんでしたが、報告・指導助言をいただいた件数は17件です。苦情内容は下表のとおりです。

なお、第三者委員への通告はなかったため、苦情内容の公表はしていません。

(1) 苦情件数

	あすなろ	さくらが丘	とよた	さくらんぼ	いちょうの森	もみじの家	こぶしの家	こどもセンター	支援センター	合計
苦情件数	3	5	0	4	2	2	1	0	0	17

(2) 苦情内容

	あすなろ	さくらが丘	とよた	さくらんぼ	いちょうの森	もみじの家	こぶしの家	こどもセンター	支援センター	合計
説明情報不足	1				1					2
職員の対応	1	2		4	1		1			9
職員の言葉態度	1	1			1					3
保育内容										0
こどものトラブル		1								1
設備環境										0
権利侵害										0
その他	1	1				2				4
合計	4	5	0	4	3	2	1	0	0	19

※苦情内容は重複していることがあり、件数と一致しない場合があります。

6 個人情報の適切な管理

個人情報の秘匿義務については、職員に個人情報誓約書の提出を求め、年度末研修会及び職員会議等で周知徹底を図っています。

7 地域への情報公開の推進

(1) 情報公開パンフレットの作成・配布

法人及び各施設の事業について、その事業内容及び財政状況に関するパンフレットを作成し、保護者、関係機関、その他地域に配布しました。

また、運営状況、財務状況については、各施設事務室の閲覧しやすい場所に常に公表開示すると共にホームページでも公開しています。

(2) 顧問会計士・顧問弁護士・社会保険労務士の委嘱

顧問会計士については、丸川税理事務所と顧問契約を締結し、財政状況、経理内容について指導、監督を毎月1回受けました。また、顧問弁護士として、太陽綜合法律事務所と顧問契約を行い、法人・各施設に関わる苦情等の事案について相談助言を受けました。平成29年度より田中社会保険労務士事務所と顧問契約し、労務に関する手続きを委託しました。

8 借入金の償還

独立行政法人福祉医療機構に対し、令和元年度分借入金元金及び利息の償還を行いました。

なお、償還金は、該当する拠点・サービス区分会計により処理しました。

(1) とよた保育園（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金（利息0%分）

元 金	780,000円
借入金残高	4,680,000円

イ 償還金（利息1.5%分）

元 金	1,710,000円
利 息	179,550円
借入金残高	10,260,000円

（注）とよた保育園園舎改築借入金総額は5千万円ですが、うち1,570万円は老朽園舎改築分として利息負担がありません。

令和元年度償還金合計	2,669,550円
内訳	
元金	2,490,000円
利息	179,550円
借入金残高合計	14,940,000円

(2) いちろうの森こども園（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金

元 金	2,760,000円	
利 息	263,747円	（利率 0.55%分）
借入金残高	46,460,000円	

令和元年度償還金合計	3,023,747円
------------	------------

(3) もみじの家（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金

元 金	2,292,000円
-----	------------

利 息	96,429円	(利率 0.34%分)
借入金残高	27,122,000円	
令和元年度償還金合計	2,388,429円	

9 理事会の開催

- (1) 第205回 令和元年6月6日 あすなろ保育園
出席理事 7名(欠席理事 0名)
議 案 平成30年度事業報告、平成30年度決算報告、監査報告、社会福祉充実計画、根っこの広場駐車場の土地の取得、令和元年度第1次補正予算、次期理事の推薦、こども・子育て支援事業運営委員の選任、理事長・常務理事の職務執行状況の報告等
- (2) 第206回 令和元年6月22日 あすなろ保育園
出席理事 7名(欠席理事 0名)
議 案 理事長の選任、常務理事の選任、根っこの広場児童送迎用駐車場の土地取得等
- (3) 第207回 令和元年9月17日 あすなろ保育園
出席理事 6名(欠席理事 1名)
議 案 保育園・こども園管理運営規程の改定、放課後等デイサービスあんずの家運営規程の改定、就業規則の改定、とよた保育園病児保育室改修工事、令和元年度第2次補正予算等、第三者委員の選任、上期内部監査の報告、理事長及び常務理事の職務執行状況の報告等
- (3) 第208回 令和元年12月15日 あすなろ保育園
出席理事 6名(欠席理事 1名)
議 案 経理規程の改定、令和元年度第3次補正予算等、令和元年度事業経過報告、令和元年度社会福祉施設等指導監査結果、理事長及び常務理事の職務執行状況等
- (4) 第209回 令和2年3月7日 さくらが丘保育園
出席理事 6名(欠席理事 1名)
議 案 経理規程の改定、就業規則等の改定、給与退職金規程及び賞与支給規程の改定、令和元年度第4次補正予算等、令和2年度事業計画、あすなろ保育園等の施設整備、令和2年度当初予算、第69回評議員会の開催、障害児通所支援事業指導監査及び実地指導の結果、放課後児童クラブ指導監査の結果、下期内部監査の報告、保護者及び職員による施設評価アンケートの結果、令和2年度職員採用結果、外部団体役員等就任状況、理事長・常務理事の職務執行状況等

10 評議員会の開催

- (1) 第67回 令和元年6月22日 あすなろ保育園
出席評議員 6名(欠席評議員 3名)
議 案 平成30年度事業報告、平成30年度決算報告、監査報告、定款の変更及び変更認可申請事務、社会福祉充実計画、新理事・監事の選任、根っこの広場児童送迎用駐車場の土地取得等

- (3) 第68回 令和2年3月7日 さくらが丘保育園
 出席評議員 8名 (欠席評議員 1名)
 議 案 あすなろ保育園等の施設整備、あすなろ保育園全面改築に伴う園舎等の処分、令和2年度事業計画、令和2年度当初予算、社会福祉施設指導監査の結果、障害児通所支援事業指導監査及び実地指導の結果、放課後児童クラブ指導監査の結果、保護者及び職員による施設評価アンケートの結果、令和2年度職員採用結果等

11 法人・保育園監査の実施

- (1) 監事監査 令和元年5月27日 いちょうの森こども園
 出席監事 2名
 監査内容 法人・保育園・こぶしの家・子育て支援センター・こどもセンターの平成30年度運営及び財務

(2) 岡山県社会福祉施設指導監査

ア 保育園・認定こども園

令和元年 8月26日 さくらんぼ保育園
 9月 3日 とよた保育園
 9月27日 さくらが丘保育園
 10月 3日 あすなろ保育園
 11月 6日 いちょうの森こども園

監査担当者 岡山県備前県民局保健福祉部職員

監査内容 平成30年度及び令和元年度各施設の運営状況

*指導監査結果について

文書指導 なし

口頭指導

- ・あすなろ保育園 0件
- ・さくらが丘保育園 2件
- ・とよた保育園 1件
- ・さくらんぼ保育園 2件
- ・いちょうの森こども園 1件

イ 障がい児通所支援事業

令和元年11月13日 もみじの家

監査担当者 岡山県備前県民局健康福祉部職員

監査内容 平成30年度及び令和元年度施設の運営状況

*指導監査結果について

概ね適正

(3) 岡山県指定障害児通所支援事業所等実地指導

令和元年6月25日 あかいわ児童発達支援センターもみじの家
 保育所等訪問支援つなぎ

指導担当者 岡山県備前県民局健康福祉部職員

指導内容 令和元年度施設の運営状況

*指導結果について

改善報告事項 2件

自主改善事項 2件

令和元年10月17日 放課後等デイサービスあんずの家

指導担当者 岡山県備前県民局健康福祉部職員

指導内容 令和元年度施設の運営状況

*指導結果について

改善報告事項 1件

自主改善事項 3件

(4) 赤磐市放課後児童クラブ監査

令和元年11月15日 アンドロメダクラブ、スバルクラブ、カシオペアクラブ、
オリオンクラブ

令和元年12月17日 たいようクラブ、ぎんがクラブ

監査担当者 赤磐市保健福祉部子育て支援課職員

監査内容 平成30年度及び令和元年度クラブの運営状況

*指導監査結果について

指摘事項

- ・アンドロメダクラブ 1件
- ・スバルクラブ 1件
- ・カシオペアクラブ 1件
- ・オリオンクラブ 1件
- ・たいようクラブ 1件
- ・ぎんがクラブ 1件

(5) 月例経理監査

丸川税理士事務所により、毎月1回経理監査と経理指導を受けた。

(6) 内部監査

法人監事、理事長及び常務理事2名により、施設の運営状況及び経理状況について各施設単位に実施した。

上期内部監査

令和元年 7月 1日 こぶしの家、あんずの家、もみじの家
7月 2日 とよた保育園、さくらが丘保育園
7月 3日 いちょうの森こども園、さくらんぼ保育園
7月 8日 こどもセンター、あすなろ保育園

下期内部監査

令和2年 1月21日 あんずの家、さくらが丘保育園
1月24日 さくらが丘こどもセンター、とよた保育園
1月28日 いちょうの森こども園、さくらんぼ保育園
2月 4日 こぶしの家、もみじの家
2月 6日 あすなろこどもセンター、あすなろ保育園

12 こども・子育て支援事業運営委員会の開催

第16回 令和元年6月12日 さくらが丘保育園

出席運営委員 12名 (欠席委員 0名)

議案 こども・子育て支援事業運営委員の専任、運営委員長及び運営副委員長の

互選、平成30年度事業報告、施設評価アンケート、令和元年度事業計画、
社会福祉充実計画等

第17回 令和元年10月30日 さくらんぼ保育園

出席運営委員 11名（欠席委員 1名）

議案 令和元年度事業経過等

第18回 令和2年2月20日 いちよしの森こども園

出席運営委員 10名（欠席委員 2名）

議案 令和2年度保育園・こども園等利用申し込み状況

13 第三者委員会の開催

第1回 令和元年9月26日 さくらが丘保育園

出席委員 3名（欠席委員 0名）

議案 令和元年度上半期苦情解決の状況等

第2回 令和2年3月12日 さくらが丘保育園

出席委員 3名（欠席委員 0名）

議案 令和元年度下半期苦情解決の状況等

14 職員採用試験実施状況

(1) 就職説明会の開催

第1回 令和元年6月22日（土）あすなろ保育園 参加者9名

第2回 令和元年9月21日（土）あすなろ保育園 参加者6名

(2) 採用試験の実施

第1回 令和元年7月7日（日）いちよしの森こども園

受験者5名 うち正規採用5名、正規採用2名（辞退）

第2回 令和元年10月27日（日）あすなろ保育園

受験者5名 うち正規採用4名、正規採用1名（辞退）

第3回 令和2年1月25日（土）あすなろ保育園

受験者1名 うち正規採用1名

正規職員任用試験（非正規職員として就労している職員対象）

令和2年1月25日（土）あすなろ保育園

受験者2名 うち正規採用2名